

会津地鶏の脚色・羽装関連遺伝子の検索

福島県農業総合センター 畜産研究所動物工学科

1 部門名

畜産 - 鶏 - 育種・選抜

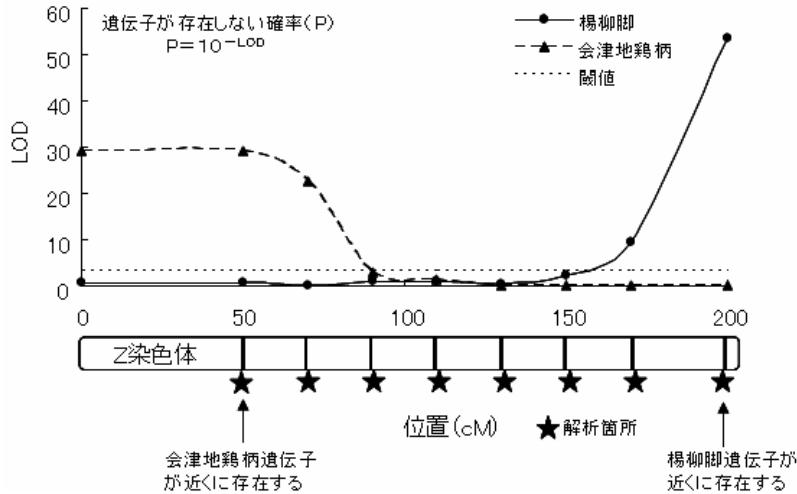
2 担当者

佐藤妙子

3 要旨

会津地鶏は楊柳色(緑色)の脚色と白地を基調とする美しい羽装が特徴である。種鶏の効率的な改良および実用鶏の品種識別に活用するため、脚色(楊柳脚)および羽装(会津地鶏柄)関連遺伝子を検索した。

- (1) 楊柳脚は、黄脚との交配家系での表型値の分離比より、伴性劣性単一遺伝子によるものと推定され、性染色体(Z染色体)の解析により、楊柳脚遺伝子は同染色体末端200cM付近に存在する確率が高かった。
- (2) 会津地鶏柄は、茶羽装との交配家系での表型値の分離比より、伴性優性単一遺伝子によるものと推定され、性染色体(Z染色体)の解析により、会津地鶏柄遺伝子は同染色体先端側50cM付近に存在する確率が高かった。
- (3) 解析した家系において、両遺伝子存在位置の遺伝子型で表型値を正しく識別できた割合は、楊柳脚で76%、会津地鶏柄で90%であった。



4 主な参考文献・資料

- (1) 平成19、20年度福島県農業総合センター試験成績概要(2007、2008)
- (2) Hiroshima-tsukuba map (Takahashi et al.2005)